



# 始めましょう

## Google Cloud NetApp Volumes

NetApp  
December 29, 2025

# 目次

始めましょう .....	1
Google Cloud NetApp Volumesについて学ぶ .....	1
機能 .....	1
料金 .....	1
サポートされている地域 .....	2
助けを得る .....	2
関連リンク .....	2
開始ワークフロー .....	2
Google Cloud NetApp Volumesを設定する .....	2
サービスアカウントを設定する .....	3
共有VPC .....	3
トラブルシューティング .....	4
Google Cloud NetApp Volumes のロールを割り当てる .....	4
サービス アカウント メンバーにロールを割り当てる .....	4
Google Cloud NetApp Volumesシステムを追加する .....	5

# 始めましょう

## Google Cloud NetApp Volumesについて学ぶ

Google Cloud NetApp Volumes は、高度なデータ管理機能と高度にスケーラブルなパフォーマンスを提供する、完全に管理されたクラウドベースのデータ ストレージ サービスです。

NetApp Volumes は、オンプレミス ストレージのパフォーマンスと機能を維持しながら、導入時間を短縮し、ワークロードとアプリケーションを管理し、ワークロードをクラウドに移行するのに役立ちます。



Google Cloud NetApp Volumes の使用を開始するには、適切な権限と、Google Cloud NetApp Volumes 管理者または Google Cloud NetApp 閲覧者のロールが割り当てられている必要があります。"[NetAppボリュームのアクセスロールを割り当てる](#)"。

### Add new roles

Associate role in organization, folder, or project

Add role

Organization, folder or project	Category	Role	
test-workspace	Application	Google Cloud NetApp Volumes admin	

Add new roles

Cancel

## 機能

- エンタープライズ アプリをより高速かつ効率的に実行します。
- クラウド ストレージのコストを最大 90% 削減します。
- 稼働時間、可用性、セキュリティの要件を満たします。
- NFS、SMB、マルチプロトコル環境をサポートします。

## 料金

Google Cloud NetApp Volumesによって作成されたボリュームは、NetApp Consoleではなく、サービスのサブスクリプションに対して課金されます。

NetApp ConsoleからGoogle Cloud NetApp Volumes のリージョンまたはボリュームを検出しても料金はかかりません。

## サポートされている地域

["サポートされているGoogle Cloud NetApp Volumes のリージョンを表示"](#)

## 助けを得る

技術サポートについては、Google Cloud ポータルからリクエストを記録してください。Google Cloud サブスクリプションと、ストレージの下にある \* Google Cloud NetApp Volumes\* サービスを選択します。必要な情報を入力してください。

Google Cloud NetApp Volumesに関する一般的な質問については、NetApp の Google Cloud チーム ([gcinfo@netapp.com](mailto:gcinfo@netapp.com)) にメールでお問い合わせください。

クラウド ボリュームに関連する技術的な問題については、Google Cloud Console からテクニカル サポート ケースを作成できます。見る ["サポートの取得"](#) 詳細については。

## 関連リンク

- ["Google Cloud NetApp Volumes のドキュメント"](#)
- ["NetApp Consoleのコピーと同期のドキュメント"](#)

## 開始ワークフロー

Google Cloud をセットアップし、システムを作成して、Google Cloud NetApp Volumes の使用を開始します。

1

### "Google Cloud NetApp Volumesを設定する"

Google からサービス アカウントを作成します。

2

### "役割を割り当てる"

NetApp Consoleから、メンバーに適切なロールを割り当てます。

3

### "システムを追加する"

NetApp Consoleから、システムの追加 をクリックし、次に **Google Cloud Platform** をクリックし、次に \* Google Cloud NetApp Volumes\* をクリックし、最後に 検出 をクリックします。サービス アカウントと Google Cloud プロジェクトに関する詳細を入力します。

## Google Cloud NetApp Volumesを設定する

NetApp Consoleには、Google Cloud サービス アカウントを介した適切な権限が必要です。

NetApp ConsoleがGoogle Cloud プロジェクトにアクセスできるように、次のタスクを完了します。

- 既存のサービス アカウントがない場合は、新しいアカウントを作成してください。
- なりすましのアクセスを許可します。
- 共有プロジェクトに IAM ロールを付与します。

## サービスアカウントを設定する

1. Google Cloudコンソールでは、"[サービスアカウントページに移動します](#)"。
2. \*プロジェクトを選択\*をクリックし、プロジェクトを選択して\*開く\*をクリックします。
3. サービス アカウントを作成するには、次の手順を実行します。
  - a. \*サービス アカウントの作成\*をクリックします。
  - b. サービス アカウント名 (フレンドリ表示名) と説明を入力します。

Google Cloud Console はこの名前に基づいてサービス アカウント ID を生成します。必要に応じて ID を編集します。後で ID を変更することはできません。

- c. \*作成して続行\*をクリックします。
- d. 役割リストから、\* Google Cloud NetApp Volumes管理者\* または \* Google Cloud NetApp閲覧者\* の役割を選択します。
- e. \*続行\*を選択します。
- f. このサービス アカウントへの偽装アクセスを許可します: [credentials-sa@wf-production-netapp.iam.gserviceaccount.com](mailto:credentials-sa@wf-production-netapp.iam.gserviceaccount.com)。詳細については、"[自己署名JSON Web Token \(JWT\) を作成する](#)"。

NetAppが所有するサービス アカウントは、そのサービス アカウントの秘密キーにアクセスすることなくそのサービス アカウントとして動作できるようにする、有効期間の短いアクセス トークンを要求するために使用されます。

- g. ページの下部にある [完了] をクリックして、次の手順に進みます。

## 共有VPC

サービス アカウントを使用する追加の GCP プロジェクトごとに、次の操作を行います。

1. IAM ページ で、プロジェクト ドロップダウン メニューから共有 VPC ホスト プロジェクトを選択します。
2. \*プリンシパルの追加\*をクリックします。
3. [新しいプリンシパル] フィールドに、サービス アカウントのメール アドレスを入力します。
4. [役割の選択] ドロップダウンから、\* Google Cloud NetApp Volumes管理者\* 役割を選択します。
5. \*保存\*をクリックします。

詳細な手順については、Google Cloud のドキュメントを参照してください。

- "[サービス アカウントの作成と管理](#)"
- "[Google Cloud NetApp Volumes のロールと権限](#)"

- "リソースへのアクセスの許可、変更、取り消し"

## トラブルシューティング

エラーが発生した場合は、**iam.disableCrossProjectServiceAccountUsage** ポリシーが適用される場合があります。これを修正するには、次の手順を実行します。

1. Google Cloud コンソールで、"[組織ポリシーページ](#)"。
2. プロジェクト間のサービス アカウントの使用を無効にする ポリシーを見つけて無効にします。

次の手順

"[Google Cloud NetApp Volumes のロールを割り当てる](#)"。

## Google Cloud NetApp Volumes のロールを割り当てる

Google Cloud NetApp Volumesの使用を開始するには、NetApp Consoleでメンバーに正しいロールを割り当てる必要があります。詳細については、"[すべてのサービスに対するNetApp Consoleのアクセスロールについて学習します](#)"。

### サービス アカウント メンバーにロールを割り当てる

1. ログイン "[NetApp Console](#)"。
2. \*管理\*を選択し、次に\*IDとアクセス\*を選択します。
3. アクションメニューを選択  役割を割り当てるメンバーの横にある をクリックし、[役割の追加] を選択します。
4. ロールを追加するには、ダイアログ ボックスの手順を完了します。

- a. フォルダーまたはプロジェクトを選択: メンバーに権限を与えるリソース階層のレベルを選択します。

フォルダーを選択した場合、メンバーにはフォルダー内にあるすべてのものに対する権限が与えられます。

- b. \*カテゴリ\*ドロップダウンから、\*アプリケーション\*ロールカテゴリを選択します。 <https://docs.netapp.com/us-en/console-setup-admin/reference-iam-predefined-roles.html>["アクセスロールについて学ぶ"]。
- c. ロール ドロップダウンから、選択したフォルダーまたはプロジェクトに関連付けられているリソースに対する権限をメンバーに付与するロールを選択します。

**Important:** 次のロールの 1 つまたは両方を追加する必要があります。

- *Google Cloud NetApp Volumes* 管理者 または
  - *Google Cloud NetApp Volumes* ビューア
- d. ロールの追加: 組織内の追加のフォルダーまたはプロジェクトへのアクセスを許可する場合は、「ロールの追加」を選択し、別のフォルダーまたはプロジェクトまたはロール カテゴリを指定してから、ロール カテゴリと対応するロールを選択します。
5. \*新しいロールを追加\*を選択します。

次の手順

"[Google Cloud NetApp Volumesシステムを追加する](#)".

## Google Cloud NetApp Volumesシステムを追加する

サービス アカウントを設定したら、NetApp ConsoleでGoogle Cloud NetApp Volumesシステムを追加して、Google Cloud NetApp Volumesインスタンスを表示できるようにします。

このサブスクリプションのクラウド ボリュームがシステムに表示されます。



複数の Google Cloud プロジェクトにサブスクリプションとボリュームがある場合は、プロジェクトごとにこのタスクを実行する必要があります。

開始する前に

各プロジェクトのサブスクリプションを追加するときは、次の情報を用意しておく必要があります。

- Google サービス アカウントのメールアドレス
- プロジェクト名

手順

1. NetApp Consoleメニューから、**ストレージ** を選択し、次に **管理** を選択します。
2. [システム] ページで、[システムの追加] を選択し、[Google Cloud Platform] を選択します。
3. \* Google Cloud NetApp Volumes\* の横にある **Discover** を選択します。
4. NetApp Volumes サブスクリプションに関する情報を入力してください。
  - a. 使用するシステム名を入力します。
  - b. 関連付けられている Google サービス アカウントのメール アドレスを貼り付けます。詳細については、"[サービスアカウントを設定する](#)"。
  - c. プロジェクト名とリージョンを取得するには、「資格情報を適用」を選択します。
  - d. \*プロジェクト名\*から、Google Cloud プロジェクトの名前を選択します。
  - e. \*リージョン\*から、システムを作成するリージョンを選択します。リージョンは、Google Cloud NetApp Volumesでサポートされているリージョンのいずれかである必要があります。
  - f. \*Discover\*を選択します。

結果

コンソールにGoogle Cloud NetApp Volumesシステムが表示されます。



次の手順

"ボリュームを表示する"。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。